

平成24年度決算に係る

定期監査調書

平成25年4月

農林総合研究所畜産試験場

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1頁
	(1) 指摘事項	1頁
	(2) 監査意見	1頁
	(3) 決算審査意見	1頁
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1頁
3	組織及び業務調べ	1頁
4	職員の定員、現員調べ	1頁
5	役付職員の調べ	1頁
6	主な事業に関する調べ	2頁
7	決算調書(総括表)	5頁
8	事業別実施状況調べ	5頁
9	予備費の充用調べ	5頁
10	繰越関係調べ	5頁
	(1) 継続費通欠繰越調べ	5頁
	(2) 繰越明許費調べ	5頁
	(3) 事故繰越調べ	5頁
11	収入証紙取扱額調べ	5頁
12	収入事務処理状況調べ	6頁
	(1) 分担金及び負担金	6頁
	(2) 使用料	6頁
	(3) 手数料	6頁
	(4) 財産収入	7頁
	(5) 寄付金	7頁
	(6) 諸収入	7頁
	(7) 現金の取扱状況	7頁
13	税外収入未済額調べ	8頁
14	未収金回収促進のための取り組み状況調べ	8頁
15	税外収入不納欠損額調べ	8頁
16	債務負担行為の状況調べ	8頁
17	負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ	9頁
	(1) 負担金	9頁
	(2) 補助金	9頁
	(2-2) 補助金(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	9頁
	(3) 交付金	9頁
	(4) 委託料	10頁
	(4-2) 委託料(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	10頁
18	工事請負費調べ	10頁
18-2	工事請負費調べ(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)	10頁
19	財産に関する調べ	11頁
	(1) 公有財産	11頁
	(2) 金券類の受払状況	14頁
	(3) 基金	14頁
	(4) 債権	14頁
20	財産の貸付及び使用許可調べ	15頁
	(1) 土地及び建物	15頁
	(2) 物品(1品の取得価格が100万円以上のもの)	16頁
21	借受不動産明細調べ	16頁
22	職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ	16頁
	(1) 職員住宅	16頁
	(2) 職員駐車場	16頁
23	自動車(二輪を除く)の管理状況調べ	17頁
24	寄附物件の受納状況調べ	17頁
25	備品の処分状況調べ	17頁
26	現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ	19頁
27	貸付金等状況調べ	19頁
	(1) 総括表	19頁
	(2) 償還状況	19頁
28	事業別予算執行状況調べ	20頁
29	農業機械の管理状況	21頁
30	生産物(品)に関する調べ	22頁
31	試験研究調査事業別実施状況調べ	23頁
○	意見、要望等	28頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

- (1) 指摘事項 該当なし
- (2) 監査意見 該当なし
- (3) 決算審査意見 該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項(口頭指摘を含む。)に対する処理状況

該当なし

3 組織及び業務調べ

課名	係(担当)名	課の主な所掌事務
農林総合研究所 畜産試験場	肉用牛研究室	○大家畜の飼養、繁殖・育成及び肥育技術に関すること。 ○大家畜の生物工学を用いた改良増殖に関すること。 ○大家畜の経営技術の改善に関すること。
	育種改良研究室	○和牛種雄牛の造成及び凍結精液の作成配布に関すること。 ○和牛の遺伝子解析と育種を用いた改良増殖に関すること。 ○牛肉の肉質向上に関すること。
	酪農・飼料研究室	○乳牛の飼養管理技術の確立に関すること。 ○飼料作物及び牧草の栽培調整利用技術に関すること。 ○飼料の分析に関すること。

4 職員の定員、現員調べ

(平成25年4月1日現在)

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		計		備考
	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	当該年度	24.4.1現在	
定員	1	0	14	14	9	11	24	25	
現員	1	0	13	13	9	11	23	24	
過不足(△)	0	0	△1	△1	0	0	△1	△1	
臨時職員	0	0	0	0	0	0	0	0	
非常勤職員	1	1	4	4	8	6	13	11	事務 1名、畜産技術員 9名(うち研究補助 3名、飼養管理補助 6名)、技術 1名、警備員 2名

5 役付職員の調べ

(平成25年4月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
場長	赤井 精	2	0	
室長(肉用牛研究室)	福田 孝彦	0	0	
室長(育種改良研究室)	田中 成彦	2	0	継続勤務期間:3年
室長(酪農・飼料研究室)	吉岡 勉	2	0	

6 主な事業に関する調べ

事業名	概 要
<p>和子牛の育成に関する試験</p> <p>決算(見込)額 3,703千円</p> <p>(財源内訳) 一般県源 1,651千円 財産収入 2,052千円</p> <p>実施計画期間 平成23～25年度</p> <p>○将来ビジョン 1 ひらく 4 食のみやこ 鳥取県</p>	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(ア) 目的 黒毛和種子牛の発育性を向上させ、骨格の大きな筋肉質タイプの和牛を育成し、セリ価格の上昇などで農家所得の向上を図る。</p> <p>(イ) 事業の実施状況 (1) 子牛に人工哺育技術を活用し、全国で数県の取り組みで関西圏では初めてである、従来法とは異なる高蛋白質低脂肪の代用乳を多量給与することにより初期発育の向上を図った。 (2) 本システムに適した人工乳(スターター)給与体系を子牛に施すことで発育の向上を図った。</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 (1) 子牛衛生管理プログラムの作成 牛舎環境整備及び感染症(肺炎、胃腸炎)の予防(早期ワクチン接種など)。 (2) 子牛の発育について、目標(発育基準の上限)をクリアするために、哺育以外に固形飼料摂取量の増加を図った。</p> <p>ウ 成果 (1) 子牛データ解析：雄19頭、雌21頭 (2) 高蛋白質低脂肪代用乳(蛋白質28%、脂肪18%)を1,000g/頭/日給与(生時体重30kg基準)し、生時体重に応じて代用乳を増量(最大1,200g/頭/日)した。給与期間は3か月間とした。 (3) 和子牛の体重が生時の2倍に到達する速さは、全国平均と比べ、雄が1.3倍、雌が1.2倍であり、同様に3倍に到達する速さは、雄が1.3倍、雌が1.1倍であり、発育の向上を認めた。 (4) 体高及び体長についても雄で全国平均以上、雌で上限近くに達することを認め、発育目標をクリアした子牛も存在し、発育は良好であった。 (5) 哺育時の最大人工乳摂取量kg/頭/日と発育性には正の相関が認められた。 (6) 哺育期間に要した飼料費は35,000～45,000円/頭であり、従来法より1頭当たり最大約10,000円多く要したが、増体に対する費用効果を認めた。 (7) 子牛の良好な発育のために高蛋白質低脂肪代用乳を利用した場合の哺育管理指針を作成し、場内で実証中である。</p> <p>人工哺育：代用乳1,000g(生時体重により最大1,200g)/頭/日 人工乳摂取量：離乳時(約90日齢)2kg(最小1.5kg)/頭/日 育成期用飼料開始時(約120日齢)までに3kg/頭/日 乾草(クレイングラス)：給与開始は40日齢以降 哺育時は上限0.2kg/頭/日の制限給与</p> <p>エ 課題 (1) 哺育期間終了後(離乳後)の発育が伸び悩み子牛が存在したため、育成用飼料の給与体系の検討が必要。 (2) 県内の子牛セリデータ(販売価格、血統、日齢、体重、増体量等)との統計的比較の実施。</p> <p>※用語説明 ○代用乳・・・子牛用粉ミルク ○人工乳(スターター)・・・固形飼料で人の離乳食に相当 ○育成期用飼料・・・固形飼料で人工乳給与時期後に給与する混合調製した穀類等 ○クレイングラス・・・アフリカ原産のイネ科の多年草で主にアメリカ産の牧草</p>

事業名	概 要																																																																																													
現場後代検定試験 【畜産試験場】 決算（見込）額 31,838千円 （財源内訳） 一般財源 17,299千円 財産収入 14,539千円 実施計画期間 H13年度～ ○将来ビジョン 1 ひらく 4 食のみやこ 鳥取県	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(7) 目的 直接検定で選抜された種雄候補牛の産子（後代）を肥育、その枝肉成績によって遺伝的産肉能力を判定し、優秀な県有種雄牛を選抜する。</p> <p>(4) 事業の実施状況</p> <p>(1) 調査牛取得のための交配と、その後産まれた調査牛の確認（親子判定）</p> <p>(2) 調査牛の購入と肥育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肥育期間 20～23ヵ月間 ・ 肥育頭数（3セット/年） 46頭 $\left[\begin{array}{l} 2 \text{種雄候補牛：肥育農家8頭・畜産試験場10頭} \\ 1 \text{種雄候補牛：肥育農家6頭・畜産試験場4頭} \end{array} \right]$ <p>(3) 選抜方法：鳥取県和牛産肉能力検定委員会で協議の上、場長が決定</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 肥育成績向上のため、飼料の給与方法改善やストレス低減対策に取り組んだ。 ・ オレイン酸能力の向上が期待できる「多美福」を平成25年1月に宮崎県から導入し、本試験のための交配を次年度に実施予定。 <p>ウ 成果</p> <p>○これまでに29頭の検定が終了し、うち13頭を種雄牛として選抜。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>検定終了年度</th> <th>種雄牛名</th> <th>頭数</th> <th>枝肉重量(kg)</th> <th>ロース芯面積(cm²)</th> <th>BMSNo.</th> <th>4等級以上率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15</td> <td>福安鶴</td> <td>17</td> <td>417.9</td> <td>50.0</td> <td>4.7</td> <td>52.9%</td> </tr> <tr> <td>16</td> <td>第2富士茂勝</td> <td>18</td> <td>470.7</td> <td>49.5</td> <td>4.5</td> <td>44.4%</td> </tr> <tr> <td>17</td> <td>金平勝</td> <td>18</td> <td>472.5</td> <td>49.6</td> <td>4.1</td> <td>22.2%</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">18</td> <td>安重波</td> <td>18</td> <td>473.4</td> <td>48.2</td> <td>4.4</td> <td>44.4%</td> </tr> <tr> <td>重安福</td> <td>18</td> <td>471.8</td> <td>53.6</td> <td>4.6</td> <td>33.3%</td> </tr> <tr> <td>安福2002</td> <td>17</td> <td>469.5</td> <td>55.7</td> <td>5.4</td> <td>58.8%</td> </tr> <tr> <td>茂波3</td> <td>17</td> <td>404.3</td> <td>51.8</td> <td>5.1</td> <td>58.8%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">19</td> <td>北福内</td> <td>17</td> <td>460.0</td> <td>50.7</td> <td>5.5</td> <td>52.9%</td> </tr> <tr> <td>勝安波</td> <td>18</td> <td>444.5</td> <td>52.4</td> <td>6.6</td> <td>83.3%</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">21</td> <td>福西松</td> <td>16</td> <td>473.3</td> <td>51.9</td> <td>5.4</td> <td>43.8%</td> </tr> <tr> <td>八重勝</td> <td>17</td> <td>462.8</td> <td>52.4</td> <td>6.1</td> <td>52.9%</td> </tr> <tr> <td>23</td> <td>琴福鶴</td> <td>17</td> <td>464.6</td> <td>48.9</td> <td>6.3</td> <td>76.5%</td> </tr> <tr> <td>24</td> <td>百合風</td> <td>18</td> <td>499.0</td> <td>53.2</td> <td>6.3</td> <td>57.9%</td> </tr> </tbody> </table> <p>※BMSNo.：脂肪交雑基準で、ロースの霜降り度合いを12段階で評価。12が最上位。 ※4等級以上率：は5段階で評価された肉質等級が4以上のもの。5等級が最上位。</p> <p>○平成24年度実施状況（12月末現在）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 種雄候補牛9頭について、120頭の産子の肥育調査を実施中。 ・ 「百合風」号は、BMSNo.が「勝安波」に次ぐ6.3であり、枝肉重量は499kgと本検定で一番の成績であったことから検定合格となった。 <p>エ 課題</p> <p>「鳥取和牛オレイン55」の生産頭数増加のため、「勝安波」を超える産肉成績を持ち、オレイン酸含有量を高める能力がある種雄牛の造成が必要。そのため、遺伝的な面から、産肉データをもとにした育種価を随時更新するとともに、DNA解析による優良遺伝子の特定に取り組み、種雄牛の造成に活かす。また、飼養管理面からもオレイン酸含有量を高めることが必要であるため、次年度から飼料給与によるオレイン酸向上試験や生体段階でのオレイン酸含有量早期診断システムの確立に取り組む。</p> <p>※育種価：その牛の遺伝的能力について、集団の平均からの優劣の程度を数値化したもの。</p>	検定終了年度	種雄牛名	頭数	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	BMSNo.	4等級以上率	15	福安鶴	17	417.9	50.0	4.7	52.9%	16	第2富士茂勝	18	470.7	49.5	4.5	44.4%	17	金平勝	18	472.5	49.6	4.1	22.2%	18	安重波	18	473.4	48.2	4.4	44.4%	重安福	18	471.8	53.6	4.6	33.3%	安福2002	17	469.5	55.7	5.4	58.8%	茂波3	17	404.3	51.8	5.1	58.8%	19	北福内	17	460.0	50.7	5.5	52.9%	勝安波	18	444.5	52.4	6.6	83.3%	21	福西松	16	473.3	51.9	5.4	43.8%	八重勝	17	462.8	52.4	6.1	52.9%	23	琴福鶴	17	464.6	48.9	6.3	76.5%	24	百合風	18	499.0	53.2	6.3	57.9%
検定終了年度	種雄牛名	頭数	枝肉重量(kg)	ロース芯面積(cm ²)	BMSNo.	4等級以上率																																																																																								
15	福安鶴	17	417.9	50.0	4.7	52.9%																																																																																								
16	第2富士茂勝	18	470.7	49.5	4.5	44.4%																																																																																								
17	金平勝	18	472.5	49.6	4.1	22.2%																																																																																								
18	安重波	18	473.4	48.2	4.4	44.4%																																																																																								
	重安福	18	471.8	53.6	4.6	33.3%																																																																																								
	安福2002	17	469.5	55.7	5.4	58.8%																																																																																								
	茂波3	17	404.3	51.8	5.1	58.8%																																																																																								
19	北福内	17	460.0	50.7	5.5	52.9%																																																																																								
	勝安波	18	444.5	52.4	6.6	83.3%																																																																																								
21	福西松	16	473.3	51.9	5.4	43.8%																																																																																								
	八重勝	17	462.8	52.4	6.1	52.9%																																																																																								
23	琴福鶴	17	464.6	48.9	6.3	76.5%																																																																																								
24	百合風	18	499.0	53.2	6.3	57.9%																																																																																								

事業名	概要																																																																																																						
飼料分析を活用した給与技術向上支援事業 決算（見込）額 737千円 （財源内訳） 一般財源 142千円 財産収入 595千円 実施計画期間 H24年度 ○将来ビジョン 1 ひらく 4 食のみやこ鳥取県	<p>ア 目的及び事業の実施状況</p> <p>(7) 目的 牧草の栄養成分を分析し、その分析結果を活用して、栄養価の優れた高品質な草作りを支援するとともに、家畜飼料の栄養成分を分析することにより、疾病予防や産乳成績向上のための適正な飼料メニュー（組合せ）管理を支援する。</p> <p>(i) 事業の実施状況 飼料分析依頼件数の内訳と推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>飼料名</th> <th>H20年度</th> <th>H21年度</th> <th>H22年度</th> <th>H23年度</th> <th>※H24年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>TMR</td> <td>180</td> <td>198</td> <td>197</td> <td>185</td> <td>183</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">サイレージ</td> <td>イタリアンS</td> <td>117</td> <td>96</td> <td>75</td> <td>56</td> <td>49</td> </tr> <tr> <td>トウモロコシS</td> <td>174</td> <td>135</td> <td>131</td> <td>82</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>飼料用稲S</td> <td>21</td> <td>12</td> <td>11</td> <td>32</td> <td>13</td> </tr> <tr> <td>その他S</td> <td>64</td> <td>33</td> <td>44</td> <td>39</td> <td>32</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">乾草</td> <td>アルファルファH</td> <td>135</td> <td>107</td> <td>135</td> <td>167</td> <td>86</td> </tr> <tr> <td>チモシーH</td> <td>59</td> <td>66</td> <td>55</td> <td>60</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>その他H</td> <td>80</td> <td>71</td> <td>68</td> <td>151</td> <td>105</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他</td> <td>31</td> <td>35</td> <td>19</td> <td>35</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合計</td> <td>861</td> <td>753</td> <td>735</td> <td>807</td> <td>598</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">※H24は4～12月分</p> <p>イ 平成24年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点 新たな分析項目の追加について検討するため、国や他県との情報交換を行った。</p> <p>ウ 成果 近年、飼料分析依頼件数は年間750～850検体程度で推移しており、綿密な飼料設計の基礎データとして活用されている。また、サイレージ共励会において、自給粗飼料生産に対して積極的に指導・提言し、品質向上に向けた啓発活動を展開している。その結果、トウモロコシサイレージの品質が国の示す西日本の標準値に近づくなど、栽培技術は年々向上している。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="375 1355 845 1758"> <p>H24トウモロコシサイレージ成分分析値の対標準値比</p> <p>□標準値(黄熟期西日本) □H24県平均値</p> </div> <div data-bbox="861 1355 1460 1736"> <p>TMR粒度分布の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>1.18mm以下</th> <th>1.18~8mm</th> <th>8~19mm</th> <th>19mm以上</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H21</td> <td>15%</td> <td>45%</td> <td>31%</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>H22</td> <td>15%</td> <td>43%</td> <td>32%</td> <td>11%</td> </tr> <tr> <td>H23</td> <td>15%</td> <td>40%</td> <td>31%</td> <td>13%</td> </tr> <tr> <td>H24</td> <td>13%</td> <td>40%</td> <td>31%</td> <td>16%</td> </tr> <tr> <td>目標値</td> <td>11%</td> <td>48%</td> <td>28%</td> <td>13%</td> </tr> </tbody> </table> </div> </div> <p>エ 課題 TMRの粒度分布の目標数値は平成17年に県が設定した数値であるが、乳牛の飼養管理技術の変化に合わせた見直しを検討する必要がある。</p> <p>【用語説明】 ・TMR：完全混合飼料 (Total Mixed Ration)。数種類の草や穀物を切断し混合したエサ ・サイレージ：飼料作物をサイロ等で密封し発酵させ、長期保存が可能なエサ。</p>	分類	飼料名	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	※H24年度		TMR	180	198	197	185	183	サイレージ	イタリアンS	117	96	75	56	49	トウモロコシS	174	135	131	82	57	飼料用稲S	21	12	11	32	13	その他S	64	33	44	39	32	乾草	アルファルファH	135	107	135	167	86	チモシーH	59	66	55	60	50	その他H	80	71	68	151	105		その他	31	35	19	35	23		合計	861	753	735	807	598	年度	1.18mm以下	1.18~8mm	8~19mm	19mm以上	H21	15%	45%	31%	9%	H22	15%	43%	32%	11%	H23	15%	40%	31%	13%	H24	13%	40%	31%	16%	目標値	11%	48%	28%	13%
分類	飼料名	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	※H24年度																																																																																																	
	TMR	180	198	197	185	183																																																																																																	
サイレージ	イタリアンS	117	96	75	56	49																																																																																																	
	トウモロコシS	174	135	131	82	57																																																																																																	
	飼料用稲S	21	12	11	32	13																																																																																																	
	その他S	64	33	44	39	32																																																																																																	
乾草	アルファルファH	135	107	135	167	86																																																																																																	
	チモシーH	59	66	55	60	50																																																																																																	
	その他H	80	71	68	151	105																																																																																																	
	その他	31	35	19	35	23																																																																																																	
	合計	861	753	735	807	598																																																																																																	
年度	1.18mm以下	1.18~8mm	8~19mm	19mm以上																																																																																																			
H21	15%	45%	31%	9%																																																																																																			
H22	15%	43%	32%	11%																																																																																																			
H23	15%	40%	31%	13%																																																																																																			
H24	13%	40%	31%	16%																																																																																																			
目標値	11%	48%	28%	13%																																																																																																			

7 決算調書(歳出調書)

別途提出

8 事業別実施状況調べ

別途提出

9 予備費の充用調べ 別途提出

10 繰越関係調べ

(1) 継続費通次繰越調べ 別途提出

(2) 繰越明許費調べ 別途提出

(3) 事故繰越調べ 別途提出

11 収入証紙取扱額調べ

(単位:円)

目	収入科目		件数	単価	証紙はりつけ額	備考
	節	細節				
農林水産業手数料	畜産業手数料	農家探卵受託手数料	69	43,900	3,029,100	
		飼料分析手数料	921	700	644,700	
		雌雄性判別手数料	0	21,200	0	
		計(節)	990		3,673,800	
	目	計			3,673,800	
	合	計			3,673,800	

12 収入事務処理状況調べ

(1) 分担金及び負担金
該当なし

(2) 使用料

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
行政財産使用料	行政財産使用料	電力	1	14,280	14,280	0	0	鳥取県行政財産使用料条例	
		電気通信	1	19,500	19,500	0	0	"	
		自動販売機	1	5,160	5,160	0	0	"	
		郵便ポスト	1	375	375	0	0	"	
		計(節)	4	39,315	39,315	0	0		
	目計		4	39,315	39,315	0	0		
	合計		4	39,315	39,315	0	0		

(3) 手数料

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
農林水産業手数料	畜産業手数料	農家探卵受託手数料	1	1,799,900	1,799,900	0	0	鳥取県手数料徴収条例	証紙収入
		飼料分析手数料	1	442,400	442,400	0	0	"	"
		計(節)	2	2,242,300	2,242,300	0	0		
	目計		2	2,242,300	2,242,300	0	0		
	合計		2	2,242,300	2,242,300	0	0		

(4) 財産収入

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
生産物売払収入	生産物売払収入	牛乳、精液、子牛等売払	34	20,895,882	20,318,382	0	577,500	生産品事務取扱要領(物品規則)	納期未到来
		計(節)	34	20,895,882	20,318,382	0	577,500		
	目計		34	20,895,882	20,318,382	0	577,500		
家畜類売払収入	家畜類売払収入	牛売払	39	22,646,283	22,025,717	0	620,566	生産品事務取扱要領(物品規則)	納期未到来
		計(節)	39	22,646,283	22,025,717	0	620,566		
	目計		39	22,646,283	22,025,717	0	620,566		
	合計		73	43,542,165	42,344,099	0	1,198,066		

(5) 寄付金

該当なし

(6) 諸収入

目	収入科目		件数	調定金額	収入済額	不納欠損額	収入未済額	根拠法令名等	備考
	節	細節							
雑入		自動販売機設置取扱手数料	3	11,378	11,378	0	0		
		自動販売機設置に係る電気代	3	18,956	18,956	0	0		
		刊行物原稿執筆料	3	45,000	45,000	0	0		
	目計			75,334	75,334	0	0		
	合計			75,334	75,334	0	0		

(7) 現金の取扱状況

ア 現金取扱状況
該当なし

イ つり銭の状況

該当なし

13 収入未済額調べ

(単位:円)

収入科目	区分		過年度				現年度分			収入未済額計(A+B)	未収理由	
	目	節	前年度以前からの繰越額	左のうち収入済額	不納欠損額	差引収入未済額(A)	収入未済額の調定年度内訳					
							21年度以前	22年度	23年度			
生産物売払収入	生産物売払収入	生産物売払収入	0	0	0	0	0	0	577,500	0	577,500	収入年月 日平成25 年1月10日
		計(節)	0	0	0	0	0	0	577,500	0	577,500	
	目計		0	0	0	0	0	0	577,500	0	577,500	
家畜類売払収入	家畜類売払収入	家畜類売払収入	0	0	0	0	0	0	620,566	0	620,566	収入年月 日平成25 年1月4日
		計(節)	0	0	0	0	0	0	620,566	0	620,566	
	目計		0	0	0	0	0	0	620,566	0	620,566	
	合計		0	0	0	0	0	0	1,198,066	0	1,198,066	

14 未収金回収促進のための取り組み状況調べ
該当なし

15 税外収入不納欠損額調べ
該当なし

16 債務負担行為の状況調べ

(単位:円)

事業名	種別	設定状況			当該事業の契約額等	執行(支出)状況				備考	
		議決	期間	限度額		設定年度の執行額A	債務負担行為の期間				
							23年度までの執行額	24年度執行額	25年度以降の執行予定額		
平成23年度 県有種雄 候補牛 調教育成 業務委託	委託料	H23年3月	平成24年度	2,018,000	0	0	1,776,199	0	1,776,199	1,776,199	
	合計			2,018,000	0	0	1,776,199	0	1,776,199	1,776,199	

17 負担金、補助金、交付金及び委託料支出状況調べ

(1) 負担金

(単位:円)

予算科目(目)	予算額	区分	負担金の名称	支出先	負担率	支出年月日	支出金額	支出の根拠 法令名等(規 約、要綱等を 含む。)	備考
(畜産試験場費) 支出金額が10万 円未満のもの							25,000		安全運転運行 管理者協議会 費 10,000円 全国畜産関係 場所長会費 15,000円
目計							25,000		
合計							25,000		

(2) 補助金

該当なし

(2-2) 補助金(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)

該当なし

(3) 交付金

該当なし

(4)委託料

(単位:円)

予算科目 (目)	国 補 単 県 の 別	委託料の名称	委託契約の 相手方	当初契約			完了			支出の状況			備考
				予定価格	契約年月日 (契約額)	契約期間	入札等 年月日 (契約保証金 納付年月日)	完了 年月日	支出 年月日	支出 区分	金額		
												変更契約(最終) 契約額	
畜産試験場費	単県	自動搾乳システムメン テナンス業務委託	藤原産業(株)鳥取管 業所	1,260,000	(H24.4.1) 1,260,000	H24.4.1 ~ H25.3.31	H24.3.23 (免除)	H24.5.31外	H24.7.10外	精	840,000	本システムの製 造メーカーの代理 店(県内に1社)で なければ保守が できないため。	
畜産試験場費	単県	遺伝子解析装置保守 点検業務委託	(有)友田大洋堂	462,000	(H24.10.17) 462,000	H24.10.17 ~ H24.12.28	H24.10.15 (免除)	H24.12.21					
畜産試験場費	単県	第10回全国和牛能力 共進会に係る第1区出 品候補牛の調教・育成 委託	個人	798,810	(H24.4.1) 798,810	H24.4.1 ~ H24.7.30	— (免除)	H24.4.30外	H24.6.11外	精	1,776,199		
畜産試験場費	単県	ほ場西側斜面他 樹木伐採作業委託	(有)那須	2,310,000	(H24.11.1) 1,554,000	H24.11.1 ~ H24.12.28	H24.10.25 (H24.11.1)	H24.12.15				新規	
畜産試験場費	単県	作業環境測定業務委 託	(社)鳥取県産業環境協 会	231,000	(H24.7.31) 157,710	H24.7.31 ~ H25.3.29	H24.7.24 (免除)	—				新規	
畜産試験場費	単県	選別精液生産委託	(社)家畜改良事業団	@11,550円/本	(H24.7.12) @11,550円/本	H24.7.12 ~ H24.10.31	指 (免除)	H24.8.22	H24.9.24	精	577,500	新規	
予定価格が20万円 未満のもの											168,735		
目計											3,362,434		
合計											3,362,434		

(4-2)委託料(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)
該当なし

18 工事請負費調べ
該当なし

18-2 工事請負費調べ(他課から予算の配当替え又は令達を受けて執行したもの)
該当なし

19 財産に関する調べ
(1)公有財産
ア土地

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況		本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由		登記年月日
行政財産	畜産試験場	琴浦町松谷字西高野606-1外	269,482.85	4,635,274	H	0	0	269,482.85	4,635,274	
計			269,482.85	4,635,274		0	0	269,482.85	4,635,274	
普通財産			0.00	0	H	0	0	0.00	0	
計			0.00	0	H	0	0	0.00	0	
合計			269,482.85	4,635,274		0	0	269,482.85	4,635,274	

イ 建物

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況		本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	価額(円)	増減理由		登記年月日
行政財産	事務所	琴浦町松谷	716.20	34,684,000	H	0	0	716.20	34,684,000	
	ボンベ庫		6.00	事務所に含む	H	0	0	6.00	事務所に含む	
	直接検定牛舎		448.00	13,160,000	H	0	0	448.00	13,160,000	
	鋸屑置場		42.00	2,614,245	H	0	0	42.00	2,614,245	
	種雄牛舎		777.60	21,500,000	H	0	0	777.60	21,500,000	
	人工授精舎		235.00	5,993,906	H	0	0	235.00	5,993,906	
	管理舎		19.87	800,000	H	0	0	19.87	800,000	
	和牛育成牛舎		301.18	5,640,000	H	0	0	301.18	5,640,000	
	和牛繁殖牛舎		603.20	45,170,000	H	0	0	603.20	45,170,000	
	待機牛舎		216.00	3,171,088	H	0	0	216.00	3,171,088	
	秤量場		19.87	665,000	H	0	0	19.87	665,000	
	車庫		160.00	9,913,000	H	0	0	160.00	9,913,000	
	屋外便所		3.75	196,500	H	0	0	3.75	196,500	
	生物工学棟(生物)		220.91	23,237,229	H	0	0	220.91	23,237,229	
	農機具庫		335.40	7,335,367	H	0	0	335.40	7,335,367	
	供卵・受卵牛舎		1,023.76	40,379,000	H	0	0	1,023.76	40,379,000	
	繁殖場		33.92	1,000,000	H	0	0	33.92	1,000,000	

行政・普通財産の区分	施設名等	所在地	前年度末		本年度異動状況		本年度末		備考	
			面積(m ²)	価額(円)	異動日	面積(m ²)	価額(円)	面積(m ²)		価額(円)
	肥育牛舎		837.01	37,080,000	H	0	0	837.01	37,080,000	
	堆肥舎		997.20	49,985,150	H	0	0	997.20	49,985,150	
	隔離舎		262.20	16,380,000	H	0	0	262.20	16,380,000	
	後代検定牛舎		1,112.30	79,191,000	H	0	0	1,112.30	79,191,000	
	飼料保管庫		250.00	15,309,000	H	0	0	250.00	15,309,000	
	乳牛舎		737.10	69,241,200	H	0	0	737.10	69,241,200	
	生物工学棟(育種)		525.08	74,517,450	H	0	0	525.08	74,517,450	
	旧乳牛舎		396.69	3,600,000	H	0	0	396.69	3,600,000	
	旧乳牛育成牛舎		198.34	1,500,000	H	0	0	198.34	1,500,000	
	旧飼料庫		148.76	2,150,000	H	0	0	148.76	2,150,000	
	計		10,627.34	564,413,135	H	0	0	10,627.34	564,413,135	
普通財産			0.00	0	H	0	0	0.00	0	
計			0.00	0	H	0	0	0.00	0	
合計			10,627.34	564,413,135		0	0	10,627.34	564,413,135	

- ウ 山林 該当なし
- エ 不動産売却 該当なし
- オ 財産の交換 該当なし
- カ 動産(船舶、浮標、浮桟橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- キ 物権 該当なし
- ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等)
- (ア) 異動状況 該当なし
- (イ) 出願及び登録の状況 該当なし
- (ウ) 活用の状況 該当なし
- ケ 有価証券 該当なし
- コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の受払状況

ア 金券の受払状況

(平成24年12月31日現在)

種別	前年度末	本年度中		本年度末	備考
		購入額	使用額		
郵便切手及び郵便はがき	円 40,100	円 108,400	円 90,800	円 57,700	
収入印紙	0	0	0	0	
収入証紙	0	0	0	0	
タクシークーポン券	0	0	0	0	
鉄道バスプリペイドカード	0	0	0	0	
図書カード	14,000	0	0	14,000	
合計	40,100	108,400	90,800	71,700	

イ タクシーチケットの受払状況

該当なし

(3) 基金

該当なし

(4) 債権

(平成24年12月31日現在)

債権の名称	前年度末現在高		本年度中		本年度末現在高		備考
	金額	件数	金額	件数	金額	件数	
行政財産使用料	円 85,155	8	円 0	0	円 45,840	5	
合計	85,155	8	0	0	45,840	5	

20 財産の貸付け及び使用許可調べ
 (1) 土地及び建物
 ア 土地

(平成24年12月31日現在)

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考	
							単価	本年度の貸付(使用)料			
行政財産	電力供給施設	琴浦町松谷字西高野606-1	電柱 6	平23.4.1	昭51.4.1	平23.4.1~平28.3.31	年額 1,500	8,400	倉吉市駄経寺245-6 中国電力(株)倉吉営業所		
			支線 4				年額 180				
			電柱 7	平23.4.1	昭58.7.19	平23.4.1~平28.3.31	年額 180	2,520			
			支線 5				年額 180				
			支柱 2	平23.4.1	平4.4.1	平23.4.1~平28.3.31	年額 180	360			
			支柱 1	平23.4.1	平9.2.27	平23.4.1~平28.3.31	年額 1,500	3,000			
			支線 1				年額 1,500				
			支線 1	平20.4.1	昭58.4.1	平20.4.1~平25.3.31	年額 1,500	16,500		鳥取市湯所町2-258 西日本電信電話(株)鳥取支店	
			電柱 5	平21.4.1	平16.4.16	平21.4.1~平26.3.31	年額 1,500	3,000			
			支線 4	平20.4.1	平20.4.1	平20.4.1~平25.3.31	年額 375	375		東京都千代田区霞ヶ関1-3-2 日本郵政(株)	
支柱 1				月額・年額	34,155						
支柱 1											
支線 1											
1 台											
計											
普通財産											
計											
合計								34,155			

イ 建物

行政・普通財産の区分	貸付(使用許可)目的	所在地	数量又は面積	貸付(使用許可)年月日	当初貸付(使用許可)年月日	貸付(使用許可)期間	貸付(使用)料(円)		貸付(使用許可)先住所氏名	備考
							単価	本年度の貸付(使用)料		
行政財産	自動販売機	琴浦町松谷字西高野606-1	0.88㎡	平22.8.1	平19.6.29	平22.8.1~平25.3.31	月額 430	5,160	鳥取市緑ヶ丘2-667-14 (株)戸信	
計							月額・年額	5,160		
普通財産										
計								0		
合計								5,160		

(2) 物品

品名	数量	規格・銘柄	貸付期間	貸付料(円)		貸付先		使用場所	貸付目的	備考
				単価	本年度の貸付料	住所	氏名			
食肉脂質測定装置	1	相馬光学 S-7010	H24.4.1~ H25.3.31	月額・年額 無償	0	西伯郡大山町小竹1291-1 鳥取県牛肉販売協議会 会長 山田 晋爾	同左	試験のため		
合計					0					

21 借受不動産明細調べ

該当なし

22 職員住宅及び職員駐車場の管理状況調べ

(1) 職員住宅
ア 管理状況

該当なし

イ 異動状況

該当なし

(2) 職員駐車場
ア 管理状況

財産の区分	所在地	1区画の面積 (㎡)	貸付(使用)料(月額) (円)
行政財産	東伯郡琴浦町松谷606 畜産試験場	12.5	1000
普通財産	該当なし		

イ 異動状況

(行政・普通財産)

月別	前月末	当月減		当月増		当月末	調定額	収入済額	収入未済額
		人	うち減免	人	うち減免				
4月	33	3	人	人	30	人	円		
5月	30				30	30	0		
6月	30			1	31	31	0		
7月	31			1	32	32	0		
8月	32				32	32	0		
9月	32				32	32	0		
10月	32				32	32	0		
11月	32				32	32	0		
12月	32				32	32	0		
1月					0	0	0		
2月					0	0	0		
3月					0	0	0		
合計							0	円	円

23 自動車(二輪を除く)の管理状況調べ

車種	年式	登録番号	取得年月日	総走行 キロ数	本 年 度		備 考
					稼働 日数	(1か月平均) 走行キロ数	
普通貨物トラック	H9	鳥11せ84-84	H9.7.15	82,538 km	33	3,464 km	231,186 (内訳) 12ヶ月点検 車検等 39,186 50,250 スノーホイール交換 6,300 夏タイヤ交換 135,450
小型貨物ダンプ	H10	鳥取45そ50-37	H10.5.27	23,978	188	1,042	212,603 (内訳) 12ヶ月点検 タイヤ交換 150,263 22,050 車検等 40,290
普通貨物自動車	H15	鳥取100は4-98	H15.6.27	25,821	73	3,261	170,327 (内訳) 12ヶ月点検 68,971 3ヶ月点検 23,636 車検等 77,720
合 計		3台					614,116

24 寄附物件の受納状況調べ

該当なし

25 備品の処分状況調べ

品 名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定 年月日	不用とする理由	処 分			備 考
							売却却 の別	売却方法・ 棄却方法	処分 年月日	
和牛(まねき)	1	H20.6.2	8	268,000 円	H24.4.19	牛郡更新	売却	せり売り	H24.4.25	116,550
和牛(たかふく1400)	1	H15.3.27	8	315,742	"	"	"	"	"	100,800
和牛(豆平次)	1	H22.7.14	8	445,200	H24.4.25	後代検定終了	"	委託販売	H24.5.1	953,306
和牛(百合白清1)	1	H22.7.9	8	307,823	"	"	"	"	"	1,046,598
和牛(ふみこ)	1	H22.7.14	8	432,600	H24.5.8	"	"	"	"	736,466
和牛(はなくにひさ)	1	"	8	475,650	H24.5.22	"	"	"	"	866,980
和牛(やすひらひさ3)	1	H22.6.14	8	280,025	"	"	"	"	"	756,431
和牛(たかひらひさ5)	1	"	8	280,025	"	"	"	"	"	697,330
和牛(やすひらひさ6)	1	"	8	280,025	H24.5.30	"	"	"	"	852,658
和牛(やすひらひさ7)	1	"	8	280,025	"	"	"	"	"	628,247
和牛(公福50)	1	H22.10.14	8	500,850	"	"	"	"	"	729,719
和牛(松風)	1	H22.12.3	8	426,300	"	"	"	"	"	739,450
和牛(百合風2)	1	H22.9.22	8	303,056	H24.6.5	肥青試験終了	"	"	H24.6.11	844,503

品名 (規格・銘柄)	数量	(保管換年月日) 取得年月日	耐用年数	取得価格	不用決定 年月日	不用とする理由	処分			備考	
							売却・棄却 譲与の方法	売却・棄却 譲与の別	処分 年月日		売却額・ 処分費用
和牛(久平勝1)	1	"	8	303,056	"	"	"	"	"	726,007	
和牛(大翔)	1	H22.10.14	8	488,250	H24.6.22	後代検定終了	"	"	H24.6.30	969,471	
和牛(もりてるみ)	1	H19.1.17	8	620,550	H24.7.5	病畜廃用	"	"	H24.7.9	31,500	
和牛(助郎12)	1	H22.12.3	8	420,000	H24.6.26	後代検定終了	"	"	"	784,352	
和牛(内平合金)	1	"	8	450,450	"	"	"	"	"	858,428	
和牛(久平勝2)	1	H22.12.1	8	313,732	"	"	"	"	"	716,402	
和牛(よねひろ111)	1	H22.10.14	8	380,100	H24.7.17	"	"	"	H24.7.24	916,499	
和牛(ゆりかぜ1)	1	H22.9.22	8	279,568	"	"	"	"	"	697,932	
和牛(ふくなみさくら2)	1	H20.5.1	8	315,742	H24.8.27	牛郡更新	せり売り	"	H24.9.3	144,900	
和牛(勝安国)	1	H22.12.1	8	313,732	"	肥育試験終了	委託販売	"	H24.9.10	839,063	
和牛(百合風3)	1	"	8	313,732	"	"	"	"	"	1,214,244	
和牛(国百合)	1	H23.1.20	8	495,600	"	後代検定終了	"	"	"	766,682	
和牛(りんかぜ)	1	"	8	418,950	H24.9.18	"	"	"	H24.9.24	745,441	
和牛(勝幸忠)	1	H22.12.1	8	313,732	"	肥育試験終了	"	"	"	704,620	
和牛(あきほ)	1	H16.7.13	8	825,300	H24.10.1	病畜廃用	"	"	H24.10.4	59,690	
乳牛(バインバリー エアロワワー プリスター マツリ)	1	H23.3.1	8	37,000	H24.10.10	試験研究対象外	随意契約	"	H24.10.17	451,500	
乳牛(バインバリー エアロワワー オーガスタ マーシャル)	1	H23.5.1	8	37,000	"	"	"	"	"	441,000	
乳牛(バインバリー アイダロット ミスターサム ベリー)	1	"	8	37,000	"	"	"	"	"	441,000	
乳牛(バインバリー グラースヘル プリッツ タルベッシュ)	1	H23.6.1	8	37,000	"	"	"	"	"	430,500	
乳牛(バインバリー アイダロット ミスターサリー ベッキ)	1	H19.2.1	8	139,000	H24.10.17	"	"	"	H24.10.22	58,800	
乳牛(バインバリー エアロワワー フォーチュン ベドゥナ)	1	H20.10.1	8	27,000	"	"	"	"	"	58,800	
和牛(ふくなみさくら1)	1	H20.5.1	8	315,742	"	牛郡更新	"	"	"	114,450	
和牛(きたふくてんし)	1	H20.9.1	8	265,028	"	"	"	"	"	115,500	
和牛(きたふくてんし)	1	H20.12.1	8	238,658	H24.10.17	"	"	"	H24.11.5	212,100	
乳牛(バインバリー エアロワワー トレビノ ペコ)	1	H20.11.1	8	45,000	"	試験研究対象外	"	"	"	70,350	
乳牛(バインバリー アイダロット エアアシス ベース)	1	H23.9.1	8	54,000	"	"	"	"	"	97,650	
和牛(樽屋安福)	1	H22.6.3	8	630,000	H24.11.5	試験研究対象外	"	"	H24.11.9	39,470	
和牛(さちえ)	1	H16.4.28	8	268,000	H24.12.3	牛郡更新	委託販売	"	H24.12.12	111,300	
和牛(ことばな)	1	H17.6.1	8	331,000	"	"	せり売り	"	"	114,450	
和牛(ふくこ)	1	H23.6.2	8	422,100	"	後代検定終了	委託販売	"	H24.12.10	645,104	
小計	43			13,731,343						22,646,283	
乳牛(バインバリー アイダロット チャンピオン フィゴロ)	1	H20.7.1	8	82,000	H24.5.10	治癒不能	棄却	病性鑑定	H24.5.10	0	
和牛(勝白清)	1	H24.5.1	8	321,000	H24.6.13	死亡	"	"	H24.6.13	0	
冷蔵庫	1	H11.4.8	5	62,790	H24.6.25	修理不能	"	使用不可能なため	H24.7.5	7,980	
乳牛(バインバリー エアロワワー マーティ マチーニ)	1	H17.9.1	8	63,000	H24.7.24	死亡	"	病性鑑定	H24.7.24	0	
小計	4			528,790						7,980	
合計	47			14,260,133						22,654,263	

26 現金、有価証券、物品の亡失、損傷調べ

現金、有価証券 又は物品名	数量	金額	出納員又は 使用者職氏名	亡失、損傷 年月日、時	同左場所	同左概要	報告 年月日	会計局の 審査結果
公用車 軽自動車	1台	円 18,480	主任研究員 岩崎 彰夫	H24.6.29	農林総合研究所 畜産試験場 草地ほ場	牧草サンプリング作業を行うため、ほ場脇の路肩 に駐車しようとしたところ、草に覆われていた排水 溝を確認できず脱輪し、前輪ホイールを損傷し た。	H24.7.5	—
合計		18,480						

27 貸付金等状況調べ

(1) 総括表
該当なし

(2) 償還状況
該当なし

28 事業別予算執行状況調べ

目 名	財産管理費	(平成24年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
県有施設営繕事業	場内2施設の修繕を実施した。	

目 名	農業総務費	(平成24年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
農林水産試験場 臨時的調査研究事業	短期・緊急課題について1課題実施した。	

目 名	畜産振興費	(平成24年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
県優良種雄牛造成事業	優秀な種雄牛造成のための雄牛導入と現場後代検定を円滑に行うための経費	
自給飼料増産支援事業	条件の異なる現地農家圃場で、トウモロコシ優良品種の栽培試験を実施し、各地の条件とニーズに合った品種を選定した。	

目 名	畜産試験場費	(平成24年12月31日現在)
事業名	事業の概要(目的、実績等)	
畜産試験場管理運営費	庁舎・牛舎・ほ場の警備、清掃委託料、高熱水費、庁舎修繕料、消耗品等の購入等維持管理を行う経費。	
試験研究費	試験研究課題等15事業を実施。詳細は、「6 主な事業に関する調べ」及び「31 試験研究調査事業別実施状況調べ」に記載。	

29 農業機械の管理状況

品名	型式及び規格	取得年月日	用途	稼動日数 日	燃 料		修繕費等 円	左の主な内容 円	備考
					消費量 L	金額 円			
トラクタ	イセキ T8010F	S61年6月18日	圃場管理	10	113	10,922	101,215	オイル・エレメント交換 98,065 ギア修繕 3,150	
"	ジョンデアー2650D	H3年7月17日	"	275	1,572	151,949	96,674	オイル・エレメント交換 96,674	
"	マッセイファーガソン MF6160-4C	H7年10月16日	"	58	1,883	182,010	268,370	オイル・エレメント交換 137,235 セクターユニット交換 53,046 ハンドワイヤー交換 27,825	
"	マッセイファーガソン MF6160-4C	H9年6月26日	"	46	862	83,320	299,670	オイル・エレメント交換 226,695 変速ギア基盤修繕 72,975	
ミニホイルローダー	コマツ WA20-2	H5年7月27日	牛舎管理	188	357	34,507	119,847	特定自主検査 22,449 ウォーターポンプ修繕 97,398	
"	コマツ WA20-2E	H8年3月6日	"	76	218	21,071	52,689	パーキングブレーキブザー修繕 23,100 特定自主検査 29,589	
"	クボタ RA300-3	H15年6月5日	"	275	689	66,598	657,586	特定自主検査 35,700 エンジン上部油漏れ修理 621,886	
"	クボタ R520-D	H15年10月17日	"	163	512	49,489	69,188	特定自主検査 69,188	
"	クボタ R530-Z	H23年8月9日	"	109	1,140	110,192	32,392	特定自主検査 32,392	
計	-	-	-	-	7,346	710,058	1,697,631	-	

30 生産物(品)に関する調べ

(平成24年12月31日現在)

生産部門	品名種類	作付面積	生産量		生産数		場使用		処		分		数		量		差引残	備考	
			生産年度前年繰り	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg	kg			kg
生	乳	/	148,920	kg	148,920	kg	40	kg	151,701	kg	15,774,307	円	610	kg	152,311	kg	15,774,307	0	H24.3月~11月
			24,500	本	24,500	本	53	本	2,995	本	3,038,175	円	本	3,326	本	3,038,175	本	265,546	
和	牛	/	50	個	50	個	43	個	9	個	78,750	円	0	個	0	個	78,750	832	
			705	個	705	個	43	個	9	個	0	個	0	個	0	個	0	個	78,750
小	計	/	180,000	kg	180,000	kg	112,828	kg	0	kg	0	円	0	kg	0	kg	0	167,742	
			108,280	kg	108,280	kg	112,828	kg	0	kg	0	円	0	0	kg	0	kg	0	167,742
粗	飼	/	400	kg	400	kg	239	kg	0	kg	0	円	0	kg	0	kg	0	227	
			16.6	ha	16.6	ha	239	kg	0	kg	0	円	0	0	kg	0	kg	0	227
家	畜	/	25	頭	25	頭	0	頭	5	頭	1,819,650	円	1	頭	6	頭	1,819,650	23	
			20	頭	20	頭	0	頭	10	頭	185,000	円	0	0	頭	10	頭	185,000	10
合	計	/	45	頭	45	頭	0	頭	15	頭	2,004,650	円	1	頭	16	頭	2,004,650	33	
			25	頭	25	頭	0	頭	15	頭	0	円	0	0	頭	16	頭	2,004,650	33
小計			20,895,882	円	20,895,882	円	20,895,882	円	20,895,882	円	20,895,882	円	20,895,882	円	20,895,882	円	20,895,882		

3 1 試験研究調査事業別実施状況調べ

(平成24年12月31日現在)

事業名	牛胚移植の受胎率向上技術の開発		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成23年度 ～ 平成25年度		(予算額) 支出済額	(3, 442, 000円) 2, 568, 300円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
受卵牛の多様な要因を加味し、有効な受胎促進処置を明らかにする。 (単)	畜産試験場農家	雌牛40頭	移植時に2種類のホルモン剤を接種し、種々の要因を加味した受胎促進処置を見出す。	(成果) 基礎試験におけるホルモン剤接種後の卵巣動態の経時的变化から、黄体機能はプロゲステロンよりhCGの方が強化される傾向にあった。移植試験についても同様の傾向が得られている。 (課題) 血中ホルモン濃度及び栄養状態の推移を調査し、hCG投与の効果を裏付ける。

事業名	和子牛の育成に関する試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成23年度 ～ 平成25年度		(予算額) 支出済額	(3, 703, 000円) 2, 739, 450円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については「6 主な事業に関する調べ」に記載				

事業名	黒毛和種肥育牛への飼料米給与試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成23年度 ～ 25年度		(予算額) 支出済額	(1, 897, 000円) 1, 407, 000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
黒毛和種去勢牛に輸入穀物(トウモロコシ等)の代替として飼料米を給与し、発育や産肉成績を調査する。 (単)	畜産試験場	去勢牛9頭	飼料効率を高めながら、発育成績等を調査する。本年度出荷分に関してはオレイン酸を含めた肉質解析を行う。	(成果) 飼料米の嗜好性はトウモロコシと比べ遜色なく、増体変化も対照区に比べ上回っている。 (課題) 飼料米の割合がどのように肉質に影響を与えるか解析が必要。トウモロコシに比べ、不飽和脂肪酸の含有量にどれほど影響を及ぼすか見極める必要がある。

事業名	供卵牛の採卵成績改善試験		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成22年度 ～ 24年度		(予算額)	(2,508,000円)
			支出済額	1,881,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
品質の良い受精卵を多く生産することで、優良牛を増頭し、家畜改良の推進を図る。 (単)	畜産試験場	雌牛20頭	採卵成績の悪い牛の原因調査と、受精卵品質改善効果が期待される抗酸化物質の投与効果の検証を行い、経済性について検討する。従来法を対照区として比較する。	(成果) 試験区・対照区各7頭の計14頭を供試し、試験区で受精卵品質の改善傾向が見られている。 (課題) データの信頼性を確保する目的で試験牛の条件を厳しくした結果、供試頭数が当初予定より少なくなっている。残された期間で頭数を増やし、データの精度を上げる。

事業名	経膈採卵による一卵性多子生産技術の開発		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成22年度 ～ 25年度(1年延長)		(予算額)	(6,957,000円)
			支出済額	5,809,050円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
先進繁殖技術の応用により種雄牛造成を迅速化・効率化する。 (単)	畜産試験場	雌牛20頭	一卵性多子生産に必要な技術を統合し、実際に牛に受精卵を移植し、受胎確認まで行う。	(成果) 一卵性多子生産に必要な技術の習得及び最適な実験条件の決定に一定の成果を得ており、クローン胚の作製に成功し、受精卵への移植を実施した(現在まで不受胎)。 (課題) 機器類の相次ぐ故障等により、試験計画に大幅な遅れが生じているが、今年度行われた機器導入と1年間の試験期間延長により目標達成を目指す。

事業名	農家採卵受託事業		担当室別	肉用牛研究室
実施計画期間	平成12年度 ～		(予算額)	(3,179,000円)
			支出済額	2,384,250円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
採卵業務を通して地域の優良牛の増加を図る。 (単)	畜産試験場	牛70頭	・計画交配された農家の雌牛を採卵し、要望により新鮮卵処理あるいは凍結処理を施し、地域へ還元する。 ・採卵に関係する飼養管理技術の相談に応じる。	(成果) 合計69頭(乳用牛7頭、肉用牛62頭)採卵し、1回に採れた受精卵の平均個数は乳用牛10.3個、肉用牛20.7個、正常卵率は乳用牛68.1%、肉用牛44.7%であった。 (課題) 採卵成績の高位安定化

事業名	優良遺伝子を用いた新鳥取和牛の創造		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年度～		(予算額)	(2,934,000円)
			支出済額	2,223,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
和牛の経済形質に関わる優良遺伝子の探索と和牛改良への活用 (単)	農林総合研究所畜産試験場	黒毛和種種雄牛、改良基礎雌牛、種雄候補牛及びその肥育産子のDNAサンプル	<ul style="list-style-type: none"> ・高能力種雄牛「勝安波」の産肉形質に関わる優良遺伝子の探索 ・牛肉中のオレイン酸に関わる優良遺伝子の探索 ・これまでに判明した優良遺伝子の種雄候補牛選抜への活用 ・判明した優良遺伝子の効果検証 	(成果) <ul style="list-style-type: none"> ・種雄候補牛5頭とその母牛3頭の優良遺伝子保有状況を検査し、選抜に活用した。 ・後代検定牛3セット49頭の優良遺伝子保有状況を検査し、その効果を検証した。
				(課題) <ul style="list-style-type: none"> ・オレイン酸に関わる優良遺伝子を特定するために、新たな解析技術(SNP解析)の習得が必要であり、現在習得に向けて研究中。

事業名	鳥取和牛肉うまみ開発試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成17年～24年度		(予算額)	(2,795,000円)
			支出済額	2,063,400円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
鳥取和牛肉のブランドカアップのため、消費者や生産者が求める「うまみ」のある鳥取和牛肉生産に向けた研究を行う。 (単)	農林総合研究所畜産試験場	鳥取県に出荷される黒毛和種肥育産子の牛肉サンプル	<ul style="list-style-type: none"> ・赤身肉に的を絞った味覚センサーの旨味値とアミノ酸組成との関係を調査 ・オレイン酸育種価のデータの更新 	(成果) <ul style="list-style-type: none"> ・味覚センサーでの旨味値とアミノ酸組成値のデータを50検体分、蓄積した。 ・オレイン酸の分析値を1,158頭分追加し、合計6,654頭分でオレイン酸育種価のデータを更新した。
				(課題) <ul style="list-style-type: none"> ・味覚センサーが当場にないため、他の実験と平行して行えず、効率が悪い。

事業名	和牛産肉能力直接検定試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和54年度～		(予算額)	(4,520,000円)
			支出済額	3,373,208円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
和牛産肉能力直接検定法の実施(単)	農林総合研究所畜産試験場	黒毛和種種雄候補牛12頭 全共出品候補種雄牛3頭	発育や体型、飼料利用効率などの項目で種雄候補牛の能力調査を実施し、種雄候補牛の一次選抜を行う。 全共出品候補種雄牛の一次選抜に合格した牛3頭を優秀な農家に育成・調教委託する。	(成果) 検定実施頭数 : 2頭 検定終了頭数 : 1頭 選抜頭数 : 1頭 全共出品候補 : 3頭 (課題) 優秀な種雄候補牛を確実に選抜するため、より適切な候補牛の導入時選抜や検定実施の体制を構築する。

事業名	現場後代検定試験		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	平成13年～		(予算額)	(31,838,000円)
			支出済額	22,288,450円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については「6 主な事業に関する調べ」に記載				

事業名	牛の精液供給事業		担当室別	育種改良研究室
実施計画期間	昭和53年度～		(予算額)	(10,112,000円)
			支出済額	7,607,802円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
凍結精液の作成及び配布(単)	農林総合研究所畜産試験場	黒毛和種種雄牛及び候補牛20頭	優秀な種雄牛や種雄候補牛の人工授精用凍結精液を計画的に生産・保管し、農家ニーズに即した和牛精液を安定供給する。	(成果) 精液生産本数 : 15,636本 精液配布本数 : 3,326本 (うち販売2,995本) 勝安波の雄選別精液50本を作成した。 (課題) 優秀な種雄牛を造成し、凍結精液販売本数の増加を図る。

事業名	乳牛の繁殖性向上試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	23年度 ～ 25年度		(予算額) 支出済額	(9,927,000円) 7,391,450円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
乳牛の繁殖成績を向上させることで酪農家の収益性向上を目指す (単)	農林総合研究所畜産試験場 県内酪農家	当時飼養の搾乳牛25頭 酪農家の搾乳牛12頭	分娩後の生殖器を速やかに正常化するために生殖器動態を解析し、それに基づき泌乳曲線の適正化(標準化)をはかり繁殖性の向上を目指す。	(成果) 超音波診断装置による卵巢の画像データの集積が進み、データ解析を進めている。併せて、高泌乳牛の画像調査を農家で行い、貴重な画像データの収集が実施できた。 (集積した画像データ数 225) (課題) 泌乳曲線の適正化の前段として、卵巢動態指標と牛群検定データとの関連性を分析し、現場での活用可能な診断指標の作成が急がれる。

事業名	粗飼料増産のための優良品種選定試験		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	22年度 ～ 24年度		(予算額) 支出済額	(73,000円) 54,750円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
優良品種を選定するための試験栽培 (単)	農林総合研究所畜産試験場	・イタリアンライグラス ・トウモロコシ	自給粗飼料の生産基盤強化と増産を目的に、牧草の優良品種を選定するための試験栽培を行う。	(成果) トウモロコシでは、「Z-corn115」の3年平均収量が標準品種と同等となり良好な成績となった。 イタリアンライグラスでは、3カ年の試験期間を終了した品種はなかった。 (課題) 引き続き現場のニーズを反映した品種選定に努める。

事業名	飼料分析を活用した給与技術向上支援事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	24年度		(予算額)	(737,000円)
			支出済額	552,750円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
本年度の試験研究調査等の目標、試験研究調査の成果・課題については「6 主な事業に関する調べ」に記載				

事業名	粗飼料生産事業		担当室別	酪農・飼料研究室
実施計画期間	S41年度 ～ 継続実施		(予算額)	(9,711,000円)
			支出済額	8,247,000円
試験研究調査の目的	試験研究調査を行う場所	試験研究調査の対象・数量・範囲	本年度の試験研究調査等の目標	試験研究調査の成果・課題
試験供試牛へ給与する自給粗飼料を生産する(単)	農林総合研究所畜産試験場飼料畑	圃場面積 11.5ha	作付け品種 春作：トウモロコシ ヒエ 秋作：イ刈アライグサ	(成果) 秋作イタリアンは対前年比190%、春作トウモロコシは140%と収穫量を大幅に増加できた。 (課題) 春作ヒエは収穫量は確保できたが、硝酸態窒素濃度が高く品質に問題があるため、施肥体系について検討する必要がある。

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する要望等
特になし

(2) 監査委員事務局に対する意見・要望等
特になし